

Title	表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙 ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1989), 51(5): 566-572
Issue Date	1989-02-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/93528
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

vol. 51 no. 5

物性研究

1989 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \sqcap ”、イタリック“ — ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと \times (カケル)、uとv、†(ダガー)と+ (プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ $\textit{—}$ ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと \times (カケル)、uとv、†(ダガー)と+ (プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

[京都大学基礎物理学研究所]

- 2-1 Högne Jungner
Thermoluminescence Dating in Archaeology and
Geology in Finland : Comparison with Results from
Radiocarbon Dating
- 2-2 Marco Ronchetti, Franco Nori and Veit Elser
Strain Accumulation in Two-Dimensional Quasi-
crystals
- 2-3 Franco Nori and Qian Niu
 $T_c(H)$ for Quasicrystalline Micronetworks:
Analytical and Numerical Results
- 2-4 J.R. Schrieffer, X.G. Wen and S.C. Zhang
Dynamic Spin Fluctuations and the BCS Mechanism of
High T_c Superconductivity
- 2-5 Qian Niu and Franco Nori
Theory of Superconducting Wire Networks and
Josephson Junction Arrays in Magnetic Fields
- 2-6 E. Dagotto, J.R. Schrieffer, A. Moreo and
T. Barnes
Ground State Properties of a Hole in the Hubbard
Model
- 2-7 Gabriel Kotliar and Sandro Sorella
Higher Order Corrections to the Metal-
Insulator Critical Indices and One Particle
Density of States in the Presence of Disorder
Interactions and Spin Orbit Scattering
- 2-8 A. Fasolino and M. Altarelli
Magnetic Hole Levels in Semiconductor Super-
lattices in a Parallel Field
- 2-9 D. Amati and C. Klimčík
Strings in a Shock Wave Background and Generation
of Curved Geometry from Flat Space String Theory

- 2-10 J.L. Egido and L.M. Robledo
Microscopic Study of the Octupole Degree of Freedom in the Radium and Thorium Isotopes with Gogny Forces
- 2-11 B. Lukács
Once More about Economic Entropy
- 2-12 L. Diósi
Models for Universal Reduction of Macroscopic Quantum Fluctuations
- 2-13 L. Potocký, É. Kisdi-Koszó, A. Lovas, L. Pogány, E. Krén, J. Kováč, L. Novák and P. Kollár
Metallic Glasses Cast in Magnetic Field
- 2-14 Z. Gingl and J. Kollár
Local Structure of Icosahedral Quasicrystals
- 2-15 D. Huber and G. Zentai
Influence of the Field Induced Doping Effect on the Density of States in Highly Doped N-Type a-Si:H
- 2-16 L. Potocký, P. Kollár, É. Kisdi-Koszó, Z. Juránek and J. Degro
Surface Coercive Force of Some Metallic Glasses
- 2-17 I. D'Antone, C. Battista, C. Bloise, A. Giannasca, A. F. Grillo, E. Lamanna, G. Mancarella, G. Mandrioli, A. Marini, P. Matteuzzi, O. Palamara, S. Petrera, L. Petrillo, F. Ronga, G. Sanzani and A. Surdo
An Acquisition System Based on a Network of Microvax's Running the Dec Vaxeln Operating System
- 2-18 E. Etim
Symmetries of Random Systems from the Fokker-Planck Equations
- 2-19 Nguyen Van Hieu, Ha Vinh Tan, Nguyen Toan Thang and Nguyen Ai Viet
Perturbation Theory of Strongly Correlated Electrons with and without Slave Boson Technique

- 2-20 K. Okano and L. Schülke
Kernel-Controlled Complex Langevin Simulation
- 2-21 Jiří Souček
Ornstein-Uhlenbeck Process in Quantum Mechanics
and the Sub-Quantum Coherence Effect
- 2-22 T. Temesvári, I. Kondor and C. De Dominicis
Long Wavelength Fluctuations in the Ising Spin
Glass

ニュース

〔九州大学理学部〕

○大学院特別講義

1月11日～13日 八田一郎（名大・工）

「熱測定と物性」

1月12日～14日 田中正之（東北大・理）

「雲と放射」

1月30日～2月2日 石川健三（北大・理）

「量子ホール効果の場の理論的基礎づけ」

1月31日～2月2日 伊東敬祐（神戸大・理）

○談話会

1月12日 八田一郎（名大・工）

「リン脂質膜の構造と物性」

1月12日 田中正之（東北大・理）

「臨界現象としての地震」

2月1日 石川健三（北大・理）

「量子ホール効果の厳密性について」

2月2日 伊東敬祐（神戸大・理）

「臨界現象としての地震」

〔東京大学教養学部〕

○人のうごき

小西哲郎（D3）→ 名大助手

伊庭幸人（D4）→ 統数研

○セミナー

1月30日 山本隆夫（群大・工）

「Polymer Melting」

2月10日 十倉好紀（東大・理）

「電子をキャリアとする酸化物超伝導体」

2月15日 藤森 淳(東大・理)

「強相関係の光電子分光」

○講演会

1月30日 中嶋貞雄(東海大・理)

「超伝導理論の発展」

[北海道大学理学部]

○講演会

1月30日 保志賢介(室工大・物理)

「 $\text{Hf}_{1-x}\text{Ta}_x\text{Fe}_2$ の磁性に対する圧力の影響」

編集部より

1989年度「物性研究」会費納入について

1989年度は Vol. 52 No. 1 - 6 (1989年4月～9月) 及び Vol. 53 No. 1 - 6 (1989年10月～1990年3月) となります。

一般個人は前納制となっておりますので、1年分 ¥ 8,400 (1 volume は ¥ 4,200) をお支払い下さい。御送金は本号にとじこみの郵便振替用紙を御利用下さい。

発送の準備もごさいますので、御送金はできるだけはやめにお願いいたします。

なお、中止は巻の切れめでないとできませんので、1988年度の Vol. 51 No. 6 (1989年3月号) で中止を御希望の方は 至急 御連絡下さい。(御本人からの退会連絡がない場合は、ひきつづき発送されてしまいますので御注意下さい。)

滞納金のある方は、はやめに御清算下さいますようお願い申し上げます。

〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学湯川記念館内

物性研究刊行会

電話 (075) 753-7051
722-3540

編集後記

このところ、当誌「物性研究」について良い風評を耳にする。講義録や研究会報告が受けているらしい。講義録と云えば、古い話であるが、A. M. Portis 博士の大阪大学における英文講義録「磁性体における核磁気共鳴」（物性論研究 2 集 11 巻 1 号、1962）が、当時の研究者の間では座右の書としてバイブル的に貴重な存在だった。数年後に研究室入りした我々学生には手に入らず、コピー機が普及していなかった当時のことだから、古書店で偶然に見つけた時には、うれしかった事を覚えている。ひょっとすると、今でも、そんなに役立っている講義録や研究会報告があるのではと秘かに願っている。

ごく限定された関係者の間で埋もれている貴重な体験や情報が、本誌を通して活字になって多くの人々に役立つのは素晴らしいことだと思います。読者諸兄姉方の、より積極的な活用を期待しています。

(Y. A.)

物 性 研 究 第 51 巻第 5 号（平成元年 2 月号） 1989 年 2 月 20 日発行

発行人	小 貫 明	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	15,600 円		

編集後記

このところ、当誌「物性研究」について良い風評を耳にする。講義録や研究会報告が受けているらしい。講義録と云えば、古い話であるが、A. M. Portis 博士の大阪大学における英文講義録「磁性体における核磁気共鳴」（物性論研究 2 集 11 巻 1 号、1962）が、当時の研究者の間では座右の書としてバイブル的に貴重な存在だった。数年後に研究室入りした我々学生には手に入らず、コピー機が普及していなかった当時のことだから、古書店で偶然に見つけた時には、うれしかった事を覚えている。ひょっとすると、今でも、そんなに役立っている講義録や研究会報告があるのではと秘かに願っている。

ごく限定された関係者の間で埋もれている貴重な体験や情報が、本誌を通して活字になって多くの人々に役立つのは素晴らしいことだと思います。読者諸兄姉方の、より積極的な活用を期待しています。

(Y. A.)

物 性 研 究 第 51 巻第 5 号（平成元年 2 月号） 1989 年 2 月 20 日発行

発行人	小 貫 明	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	15,600 円		

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	4,200円
2nd volume (10月号～3月号)	4,200円
計	8,400円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,300円、1 Vol. 7,800円、年間15,600円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物 性 研 究 51—5 (2月号) 目 次

○研究会報告

「相転移研究の新手法とその応用」……………377

○高温超伝導体のラマン散乱……………水貝 俊治……552

○プレプリント案内……………566

○ニュース……………569

○編集部より

1989年度「物性研究」会費納入について……………571

○編集後記……………572

物 性 研 究 51—5 (2月号) 目 次

○研究会報告

「相転移研究の新手法とその応用」……………377

○高温超伝導体のラマン散乱……………水貝 俊治……552

○プレプリント案内……………566

○ニュース……………569

○編集部より

1989年度「物性研究」会費納入について……………571

○編集後記……………572